



【概要版】長崎都心まちづくり構想

令和6年4月 長崎市

長崎都心まちづくり構想とは？

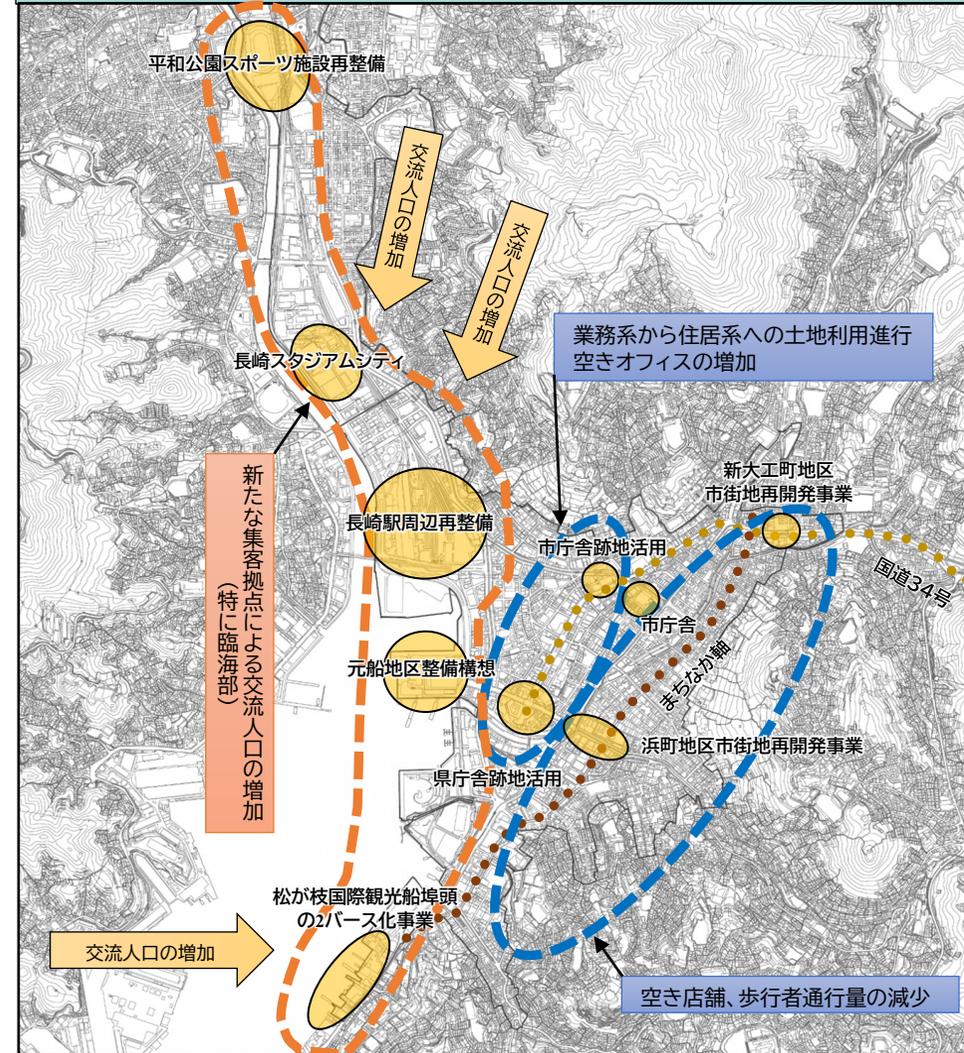
構想策定の背景と目的

- 「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」を目指すべき都市構造としている。
- その中で**都心部**は、市全体の生活を支える中心として**賑わいと活力を持続・発展**させていく必要がある。
- 現在、長崎駅周辺再整備や長崎スタジアムシティなど、**新たな集客拠点が生まれてきている**。
- 一方で、古くからの商業の中心地である「**まちなか**」において、**賑わいが失われつつある**。
- 今後も**持続可能な都市**としてあり続けるためには、**新たな集客拠点**で生まれる賑わいを「**まちなか**」を含む**都心部全体へ波及**させることが必要である。
- **本構想を関係する全ての人と共有し、将来も賑やかで暮らしやすいまちづくりを進めていくための指針として本構想を策定した。**

期間

- 概ね30年後の2050年（令和32年）

都心部を取り巻く状況



長崎都心まちづくり構想とは？

対象区域

- 都心部～都心周辺部における「都市機能誘導区域」を基本に、地形、宅地の連担状況、公共交通サービスの状況から一定まとまりのある区域を設定

エリア分け

- 特徴、各種プロジェクトなどから4つのエリアを設定

川辺のエリア

浦上川に沿って、陸の玄関口である長崎駅周辺から長崎スタジアムシティ、各種運動施設を有する平和公園が立地するエリア

海辺のエリア

長崎港に面し、大波止や松が枝といった国内外からの海の玄関口を有するとともに、水辺の森公園や出島ワーフなど海辺の特徴を活かした市民の憩いの場となっているエリア

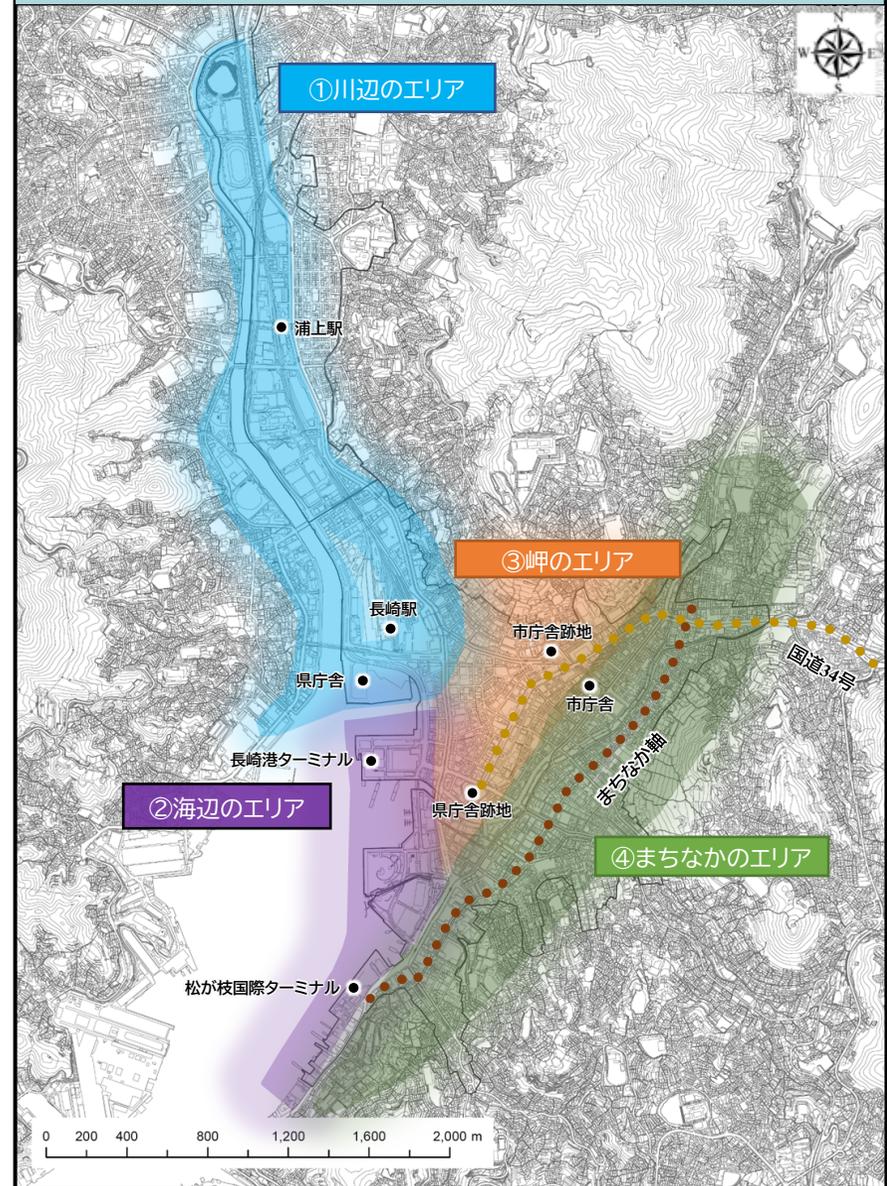
岬のエリア

長い岬の上に町建てが始まった長崎発祥の地。国道34号を中心とした尾根形状の地形に行政機関や文化施設、事業所等が立地しているエリア

まちなかのエリア

歴史的な文化や伝統に培われた長崎の中心部であるエリアで、新大工から中通りを経て南山手に至る「まちなか軸」を中心としたエリア

対象区域とエリア



対象区域の現況

人口動態	<ul style="list-style-type: none">・ H27(2015)年をピークに人口は減少傾向・ 世帯当たりの人員は減少傾向
土地利用	<ul style="list-style-type: none">・ 川辺のエリア、海辺のエリアにおいて商業業務機能の集積が進む一方で、岬のエリア、まちなかのエリアにおいて、商業業務施設から住居施設への更新も増加・ 長崎駅に近接する浦上川右岸地区などでは、低未利用地が点在
賑わいと回遊	<ul style="list-style-type: none">・ 歩行者交通量は減少傾向・ まちなかの空き店舗数が増加
交通	<ul style="list-style-type: none">・ 朝夕において主要幹線道路の渋滞が発生し、大規模商業施設の開発によって祝休日の渋滞が懸念

問題点

● 回遊動線の不備

都心部のエリア間を結ぶ魅力的な歩行者動線が不足している
また、公共交通機関の交通結節機能や拠点間のアクセスが十分でない

● 地域のポテンシャルを活かす仕組み・空間の不足

そこに行こうという人の動機を呼び起こす仕組みや空間が不足している地域がある

● 土地利用規制のミスマッチ

地域のポテンシャルに合っていない土地利用規制によって、土地の有効活用がなされていない地域がある

将来像

多様な「活動」「つながり」「魅力」が豊かな時間をもたらす“賑わいと活力に溢れた都心”
～ネットワーク型コンパクトシティを支える長崎のエンジン～

- ⇒大規模な集客拠点の周辺だけでなく、そこから「まちなか」まで多くの人が回遊し、経済効果が波及している
- ⇒市民・来訪者問わず多様な人々によって、働き、遊び、学ぶといった様々な活動が活発に行われている
- ⇒多様で高度な都市機能、産業の集積によって働きやすさと暮らしやすさが両立した質の高いコンパクトシティの中核となっている

【都心部での将来の暮らし方や過ごし方のイメージ】

- 全ての人が様々な交通手段で快適に移動できている
- 公園や歩道といった公共空間が、普段使いに加え様々な活動の場となり、賑わいが生まれている
- スポーツや文化芸術の新たな拠点の誕生により、これまでにない仕事や娯楽が生まれ、より豊かな時間を過ごしている
- 土地利用の自由度が高まることで、暮らし方や働き方が多様化し、自分らしい生活スタイルを選べる

様々な交通手段で快適に移動



(出典:国土交通省HP)

公共空間を利用した賑わい



(出典:国土交通省HP)

新拠点による豊かな時間



(出典:ジャパネットホールディングス)
(施工段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります)

自由な暮らし方働き方



(出典:国土交通省HP)

将来の生活イメージ

将来、市民や観光客が都心でどのように過ごしているのかをイメージしています。

昔は、ビジネス街の印象が強く足を運んだことはありませんでした。
最近では、路上で読書や勉強している人、音楽活動などを行っている様子に魅力を感じ、今では、自分が落ち着く場所を見つけ週に何度も訪れています。

休日は、家族みんなでまちなかに出かけます。買い物はもちろんのこと、こどもの遊び場や休憩施設もあり、1日中まちなかで過ごしています。
他ではあまり見ない趣向を凝らした店やイベントなど、まちなかに来るたび毎回新しい発見や出会いがあり、家族みんなで満喫しています。

友人とコンサートを楽しんだあと、快適なモビリティで水辺の森まで行き、途中で購入した昼ご飯を食べながら屋外シアターを鑑賞しました。
最後は、浜町のお気に入りのお店で友達と楽しく会話をして過ごしました。

周辺のお店や地元のまちづくり協議会と連携してイベントを開催しました。
イベントを通じて、いろんな人と知り合い、話を聞いているうちにまちづくりに興味をもちました。
今度、協議会の活動に参加する予定です。

アルバイト帰りに道端で開催していたイベントにふらっと参加しました。
そこで出張出店していたお店のマスターと仲良くなって、今度、友達とお店に遊びに行く予定です。

長崎ならではの文化に興味があり旅行にきました。南山手地区の文化体験ツアーに参加し、地元の方とのふれあいや、様々な文化を体験することができました。
まちな人も魅力的で住んでみたいと感じました。

取引先との協議をフリーのワーケーションスペースで行いました。
その協議内容を耳にした異業種の方に話しかけられ意見交換したところ、新たなアイデアが生まれ、今では新商品を共同で開発中です。

新幹線で長崎市を訪れました。駅前の広場は明るく開放的で、これから始まる楽しい旅行を予感させました。
足の調子が悪かったのですが、バスや路面電車の乗り継ぎは来て、移動モビリティなども充実していたため、苦勞することなく観光することができました。

定年退職し、外出する機会も減っていましたが、孫をスポーツ観戦に連れて行ったことがきっかけで、自分もファンになり、今では毎週のように観戦に行っています。
一緒に応援する友達もでき、外出する機会が増え、まちあるきもするようになり、毎日楽しく健康に過ごしています。

市民

浦上右岸のマンションに住んでいます。平日の朝は、浦上川沿いの遊歩道で犬の散歩をし、リフレッシュした状態で仕事に臨んでいます。
休日は、平和公園のスポーツ施設で運動することが楽しみです。

市民

離島から子どもと一緒にフェリーで大波止を訪れました。ターミナル周辺は再整備されていて、施設間や目的地までベビーカーを押しながらもスムーズに移動できました。
帰りのフェリーまで時間があつたので、ターミナルの近くにある建物の屋上広場で子どもと一緒に遊んでいたところ、同世代の家族と仲良くなり、子育てに関する情報を交換しました。

家族みんなで、美術館、出島、図書館、歴史文化博物館を訪れ、歴史や文化についてみんなで学ぶことができました。
途中の道沿いには、遊び場や休憩するところがあり、子ども達も楽しくまちあるきしていました。

クルーズ旅行で長崎市を訪れました。まちなかまでの動線がわかりやすく、道沿いにはいろいろな仕掛けがあり移動自体も楽しむことができました。
特にウォーターフロントは魅力的な空間が多く、クルーズの長旅を癒してくれました。

(1) 基盤づくり

ア 回遊性の向上

- 歩行者動線の整備・明確化
- 公共交通等による回遊性の向上
- 広域ネットワークとの接続強化



ウォーカブルな空間(出典:国土交通省HP)

イ 回遊目的の創造

- 長崎特有の魅力の目的地化
- 公共的空間の目的地化



歴史的建造物等の活用(出典:長崎居留地歴まちランドデザイン)

ウ 多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換

- 賑わいと活力の創出に向けた土地利用
- 魅力的で安全安心なまち
- フレキシブルな土地利用



フレキシブルな空間(出典:国土交通省HP)

(2) 仕組みづくり

エ 都市基盤を活用する体制づくり

- プレイヤーが生まれ活動しやすい仕組みづくり
- 産学官の緊密な連携

利用者中心の運営体制
(出典:国土交通省HP)



学生主体の跡地活用検討及び跡地整備(出典:長崎市)



オ 先進的なまちづくり施策の意欲的な展開

- 回遊性向上等に寄与する最新技術の積極的な活用
- 先進手法が当たり前となる仕組みづくり



銅座川プロムナードの社会実験(出典:長崎市)

各エリアの位置づけと整備の方向性

位置づけ

川辺のエリア

- 陸の玄関口として、長崎駅を中心とした一大集客エリア
- スポーツ・レクリエーションなどの娯楽や余暇の充実
- 土地利用転換による、多様で柔軟な機能の充実

海辺のエリア

- 海の玄関口として、国内外との交流を進めていくエリア
- 親水性を生かした憩い・潤いの空間
- 港とまちの近接性を生かした、魅力ある都市環境

岬のエリア

- 各エリアの中心として、エリア間の人の流れを生み出すポンプ
- 多くの昼間・関係人口が集積する都心部の骨格
- まちを創ってきた長崎発祥のエリア

まちなかのエリア

- 歴史・文化や伝統に培われた長崎の母屋
- 長崎特有の魅力や新たな集客コンテンツによる賑わい

整備の方向性

川辺のエリア

- 全国からの集客エリアとなる施設整備と交流の創出・波及
- 全ての市民が娯楽と余暇を楽しめる環境整備
- 浦上川右岸など、土地利用の転換や高度利用により、多様で柔軟な機能の確保

海辺のエリア

- 川辺のエリアとの連携強化による土地利用の転換と高度化
- 海上交通の要所となる施設整備と臨海部の新たな賑わい・憩いの拠点創出
- まちなかのエリアとの連携強化による山手地区への回遊性向上

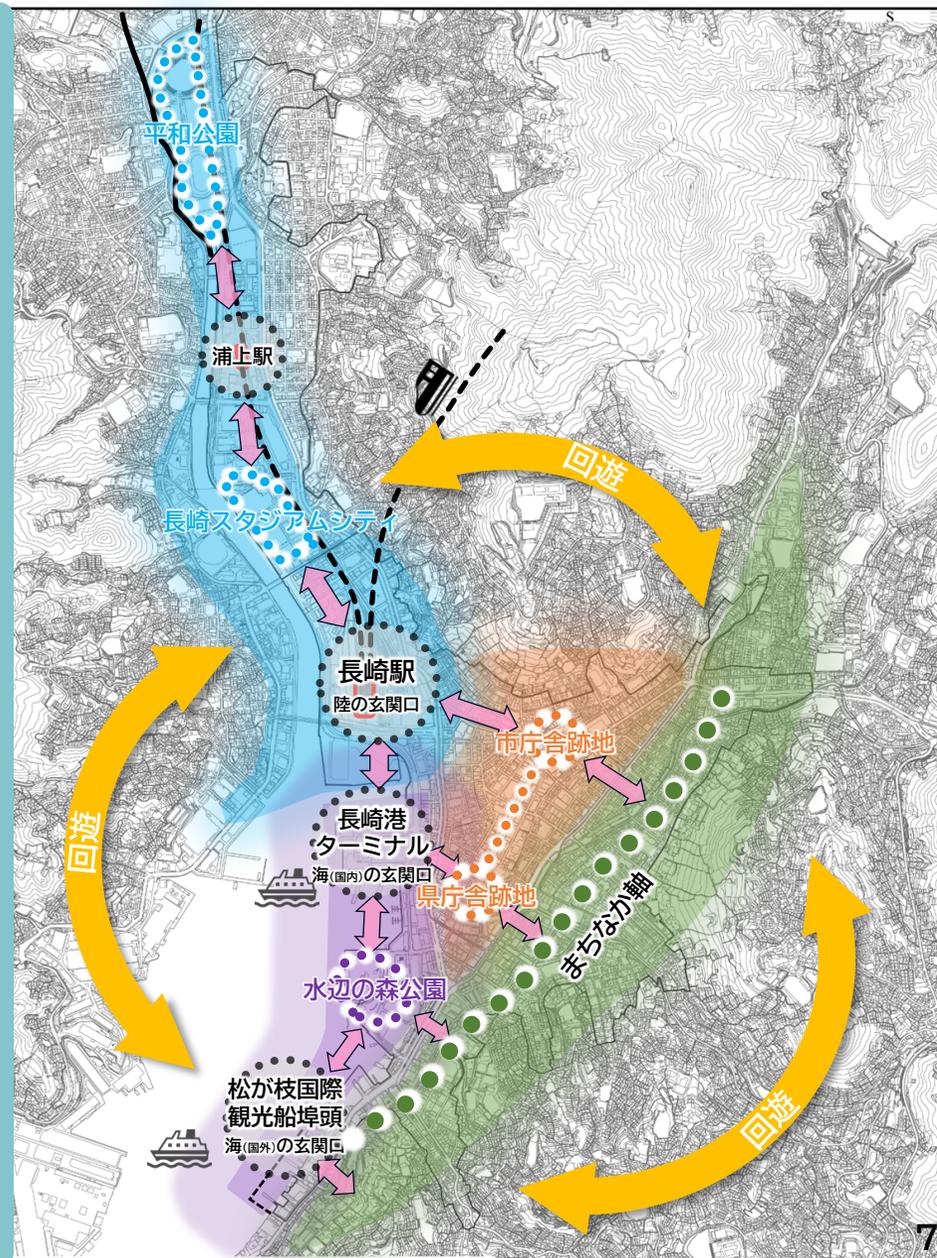
岬のエリア

- メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み
- 多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用
- 川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化

まちなかのエリア

- 新たな集客コンテンツの創造
- 賑わい再生に向けた土地利用の転換
- 自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備
- まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化

拠点と回遊動線のイメージ

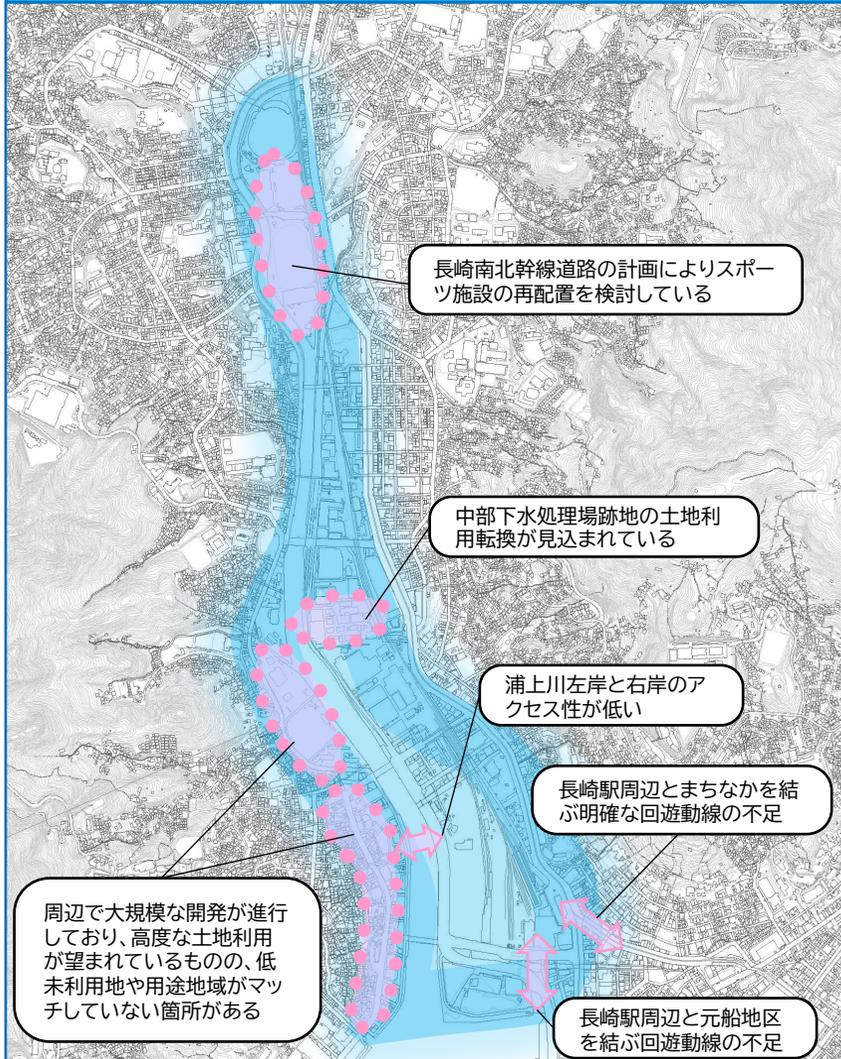


整備方針（川辺のエリア）

エリアの位置づけ(再掲)

陸の玄関口として、長崎駅を中心とした一大集客エリア
 スポーツ・レクリエーションなどの娯楽や余暇の充実
 土地利用転換による、多様で柔軟な機能の充実

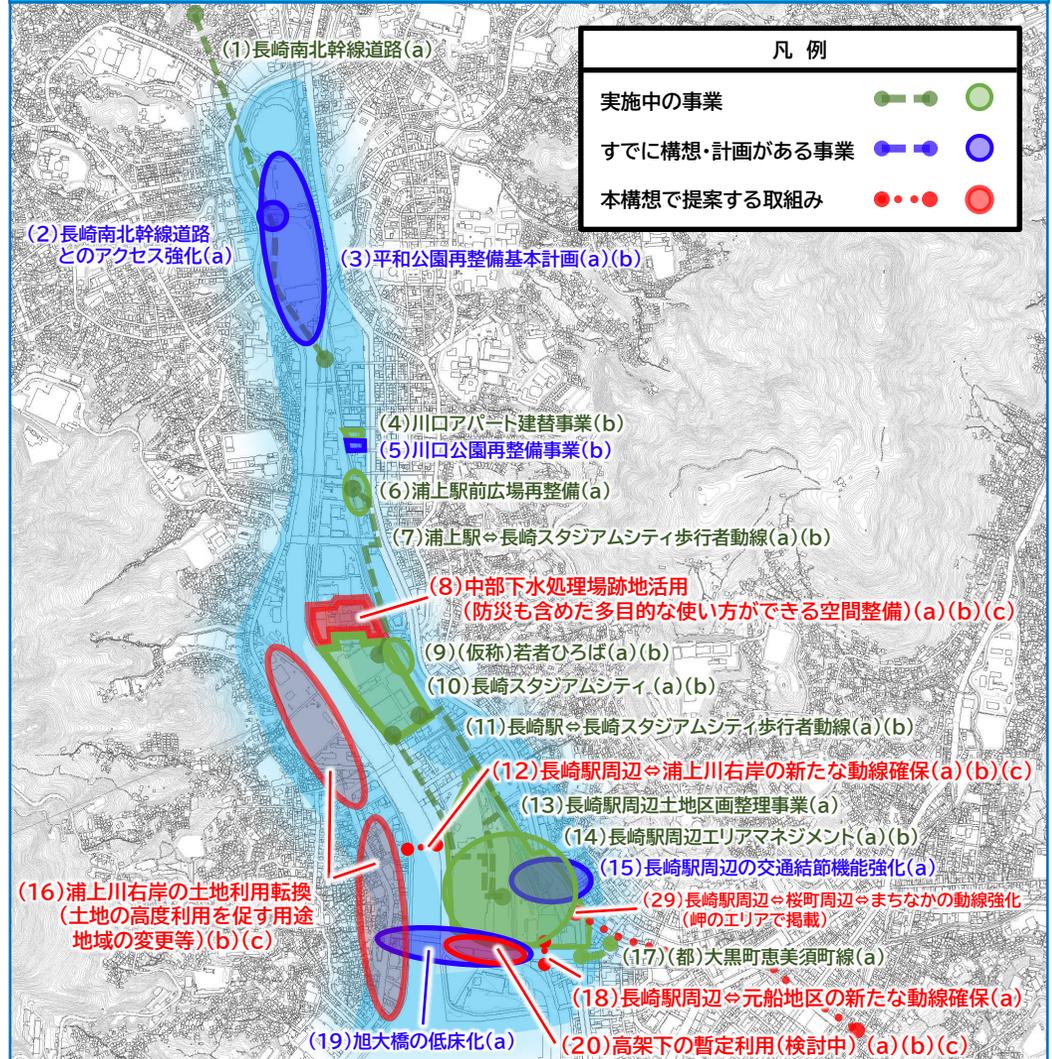
エリアの問題点等



エリアの整備の方向性(再掲)

全国からの集客エリアとなる施設整備と交流の創出・波及 (a)
 全ての市民が娯楽と余暇を楽しめる環境整備 (b)
 浦上川右岸など、土地利用の転換や高度利用により、多様で柔軟な機能の確保 (c)

整備方針

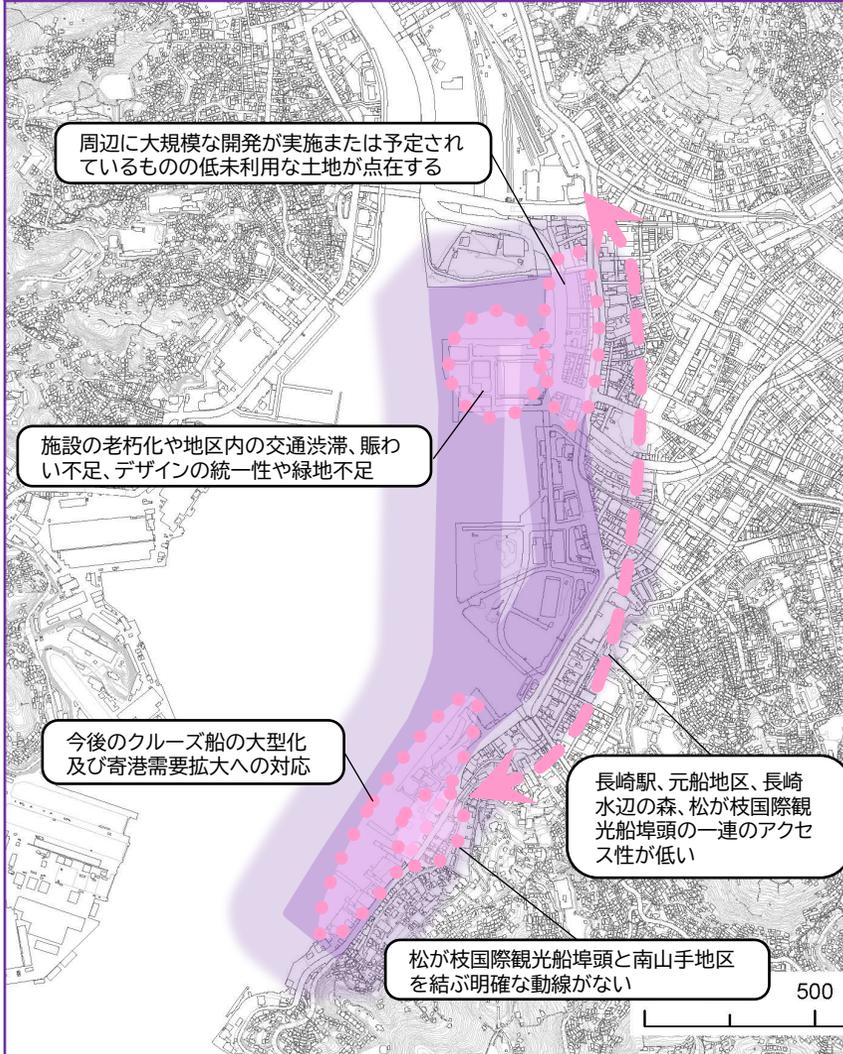


整備方針（海辺のエリア）

エリアの位置づけ(再掲)

海の玄関口として、国内外との交流を進めていくエリア
親水性を生かした憩い・潤いの空間
港とまちの近接性を生かした魅力ある都市環境

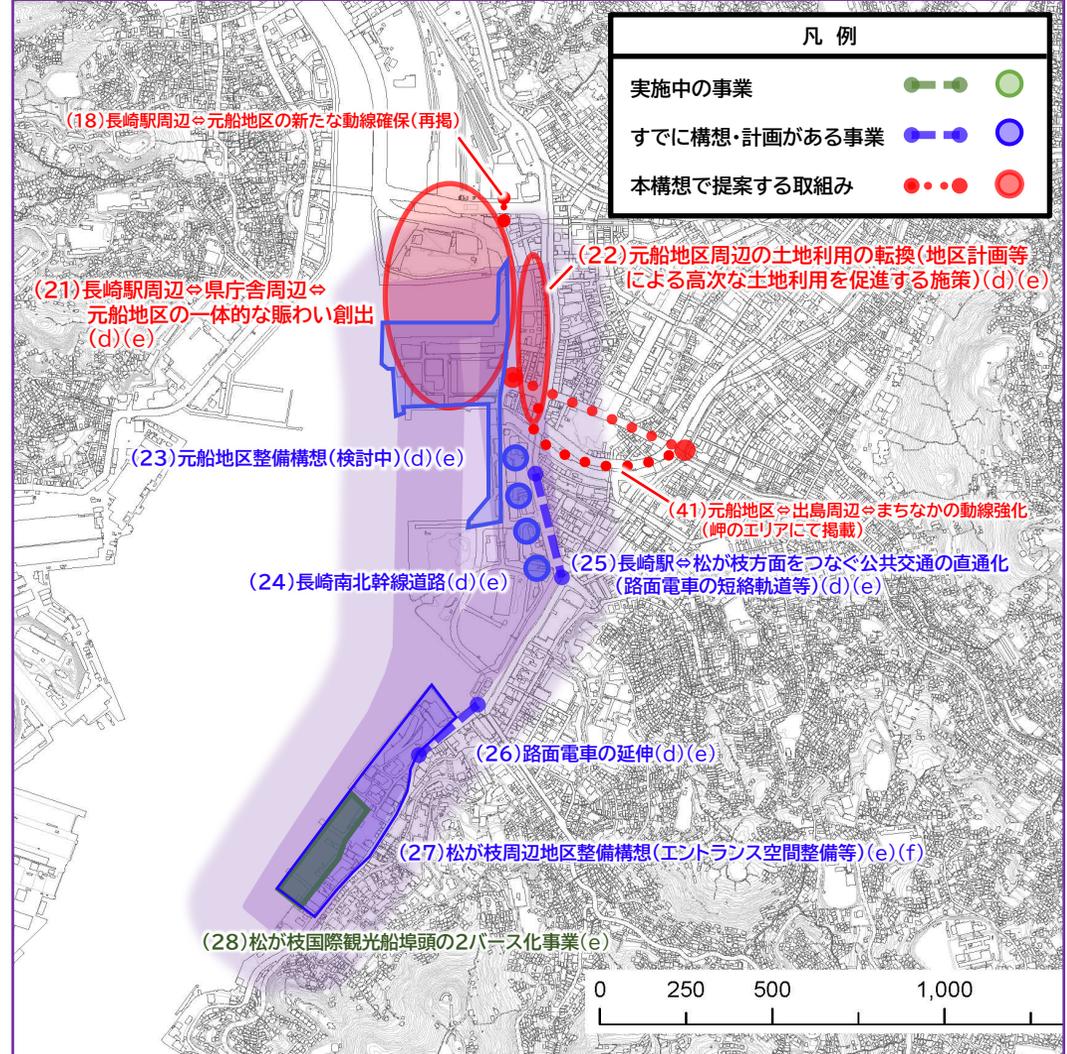
エリアの問題点等



エリアの整備の方向性(再掲)

川辺のエリアとの連携強化による土地利用の転換と高度化 (d)
海上交通の要所となる施設整備と臨海部の新たな賑わい・憩いの拠点創出 (e)
まちなかのエリアとの連携強化による山手地区への回遊性向上 (f)

整備方針

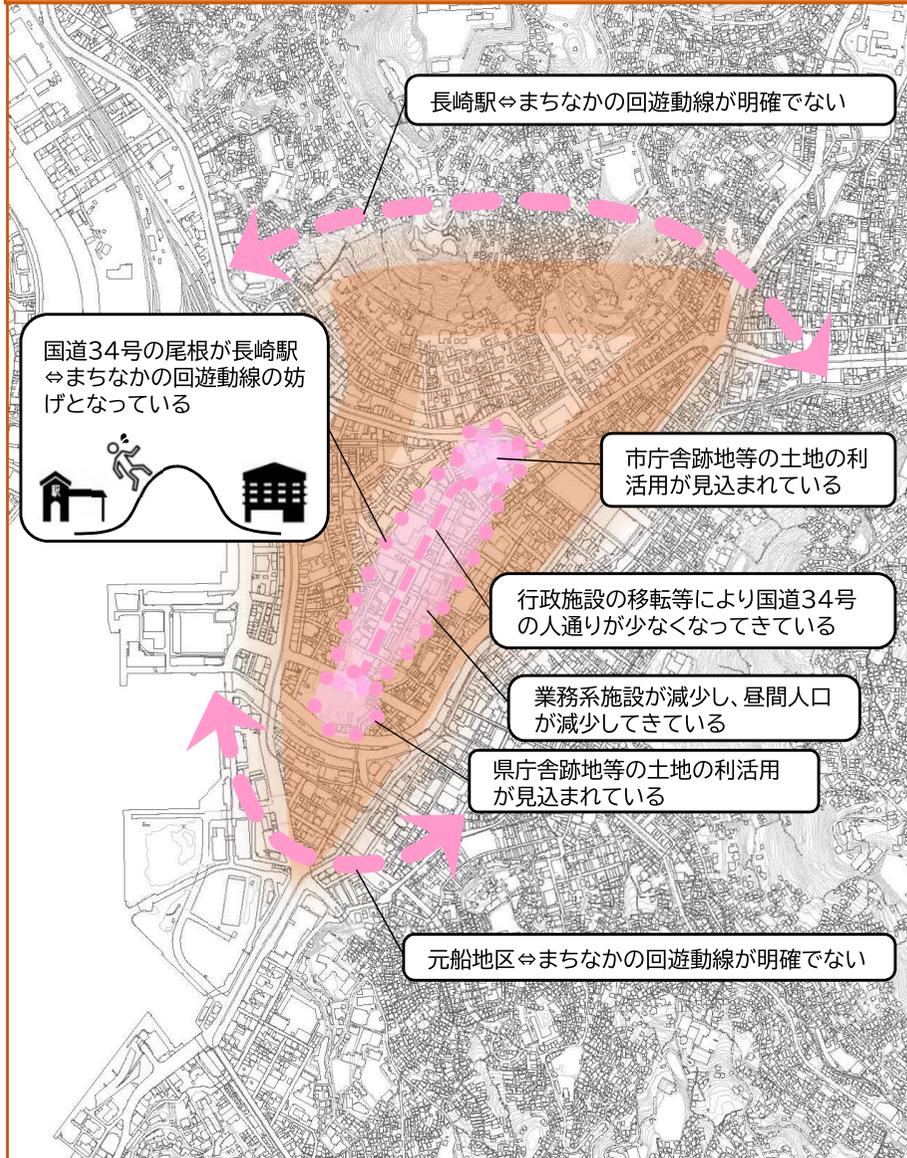


整備方針（岬のエリア）

エリアの位置づけ(再掲)

各エリアの中心として、エリア間の人の流れを生み出すポンプ
多くの昼間・関係人口が集積する都心部の骨格
まちを創ってきた長崎発祥のエリア

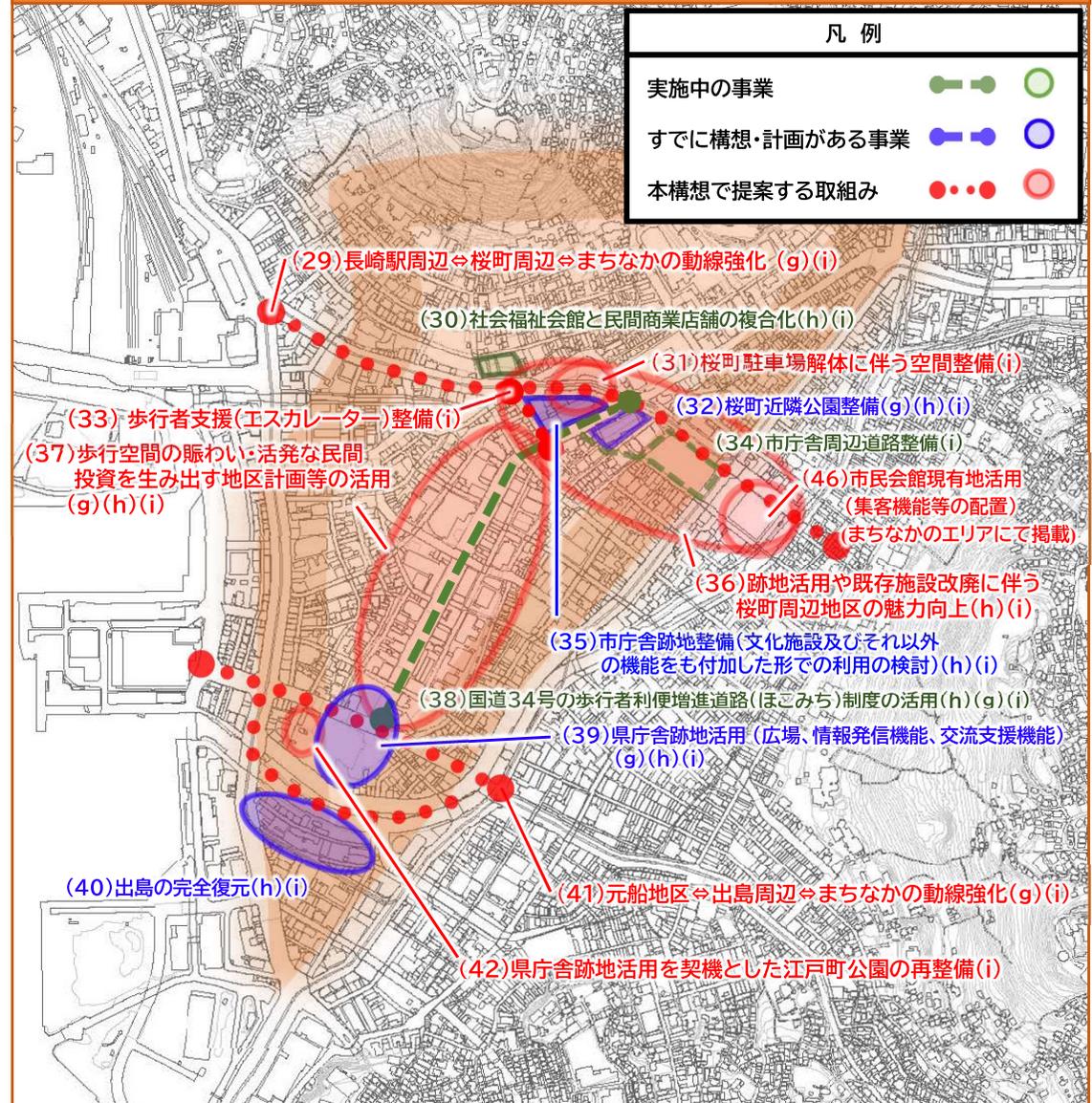
エリアの問題点等



エリアの整備の方向性(再掲)

メインストリートの新たな整備、活用により、道路自体が集客施設となる取組み (g)
多くの昼間・関係人口が集積するための都市計画制度等の運用 (h)
川辺のエリア、海辺のエリア、まちなかのエリアとの連携強化 (i)

整備方針



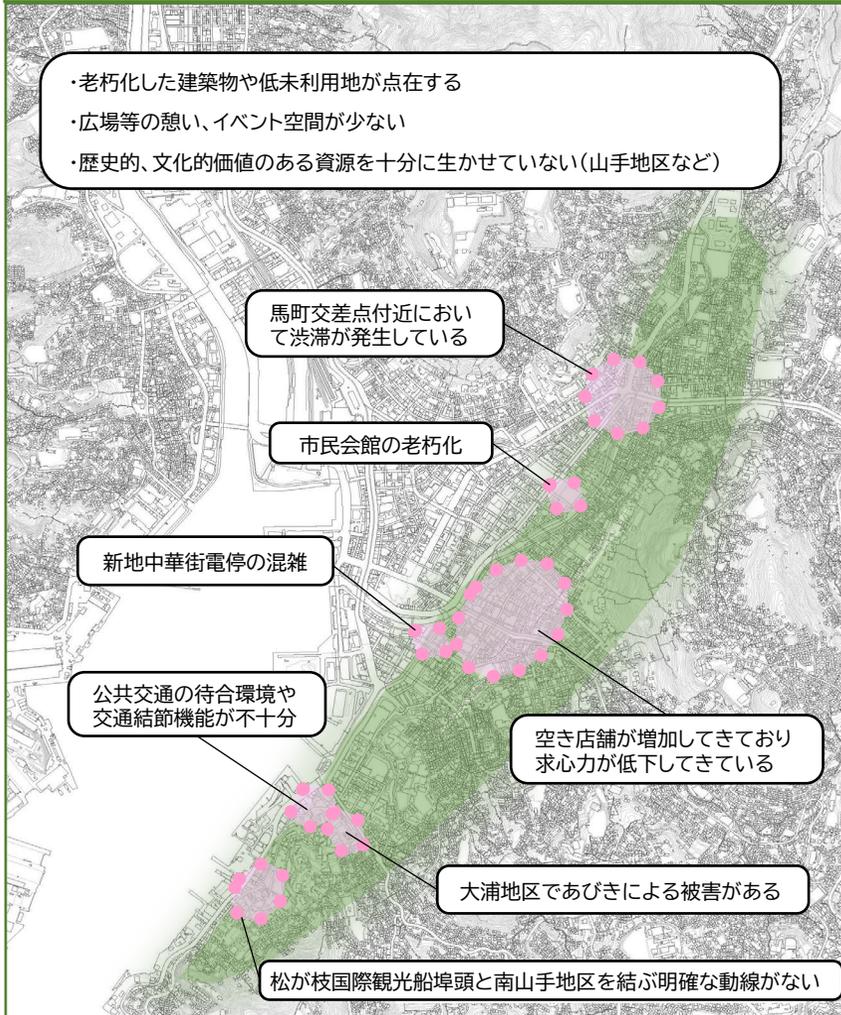
整備方針（まちなかのエリア）

エリアの位置づけ(再掲)

歴史・文化や伝統に培われた長崎の母屋
長崎特有の魅力や新たな集客コンテンツによる賑わい

エリアの問題点等

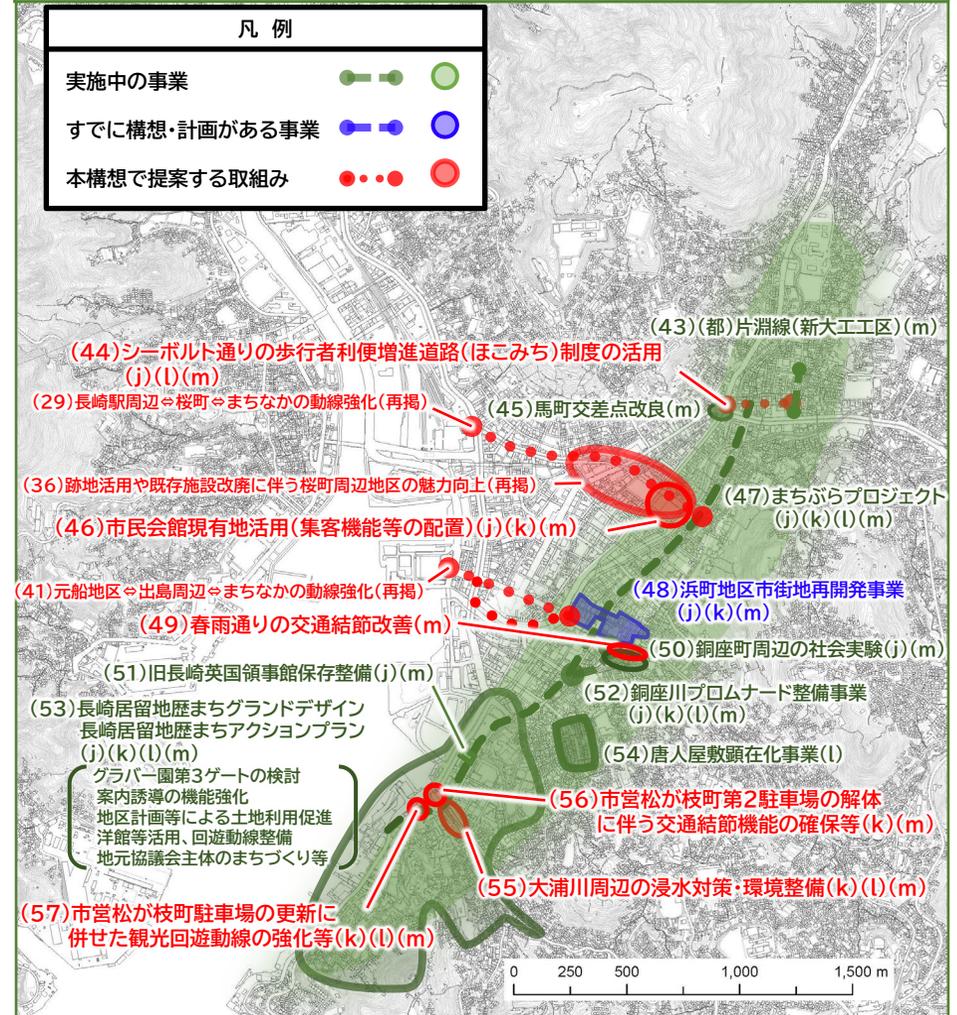
- ・老朽化した建築物や低未利用地が点在する
- ・広場等の憩い、イベント空間が少ない
- ・歴史的、文化的価値のある資源を十分に生かせていない(山手地区など)



エリアの整備の方向性(再掲)

新たな集客コンテンツの創造 (j)
賑わい再生に向けた土地利用の転換 (k)
自然、歴史、文化を身近に感じられる日常空間の整備 (l)
まちなか軸の更なる回遊性向上と海辺のエリア、岬のエリアとの連携強化 (m)

整備方針



整備方針（全体）

【川辺のエリア】

実施中の事業

- (1)長崎南北幹線道路
- (4)川口アパート建替事業
- (6)浦上駅前広場再整備
- (7)浦上駅⇨長崎スタジアムシティ歩行者動線
- (9)（仮称）若者ひろば
- (10)長崎スタジアムシティ
- (11)長崎駅⇨長崎スタジアムシティ歩行者動線
- (13)長崎駅周辺土地区画整理事業
- (14)長崎駅周辺エリアマネジメント
- (17)（都）大黒町恵美須町線

すでに構想・計画がある事業

- (2)長崎南北幹線道路とのアクセス強化
- (3)平和公園再整備基本計画
- (5)川口公園再整備事業
- (15)長崎駅周辺の交通結節機能強化
- (19)旭大橋の低床化

本構想で提案する取組み

- (8)中部下水処理場跡地活用
（防災も含めた多目的な使い方ができる空間整備）
- (12)長崎駅周辺⇨浦上川右岸の新たな動線確保
- (16)浦上川右岸の土地利用転換
（土地の高度利用を促す用途地域の変更等）
- (18)長崎駅周辺⇨元船地区の新たな動線確保
- (20)高架下の暫定利用（検討中）

【海辺のエリア】

実施中の事業

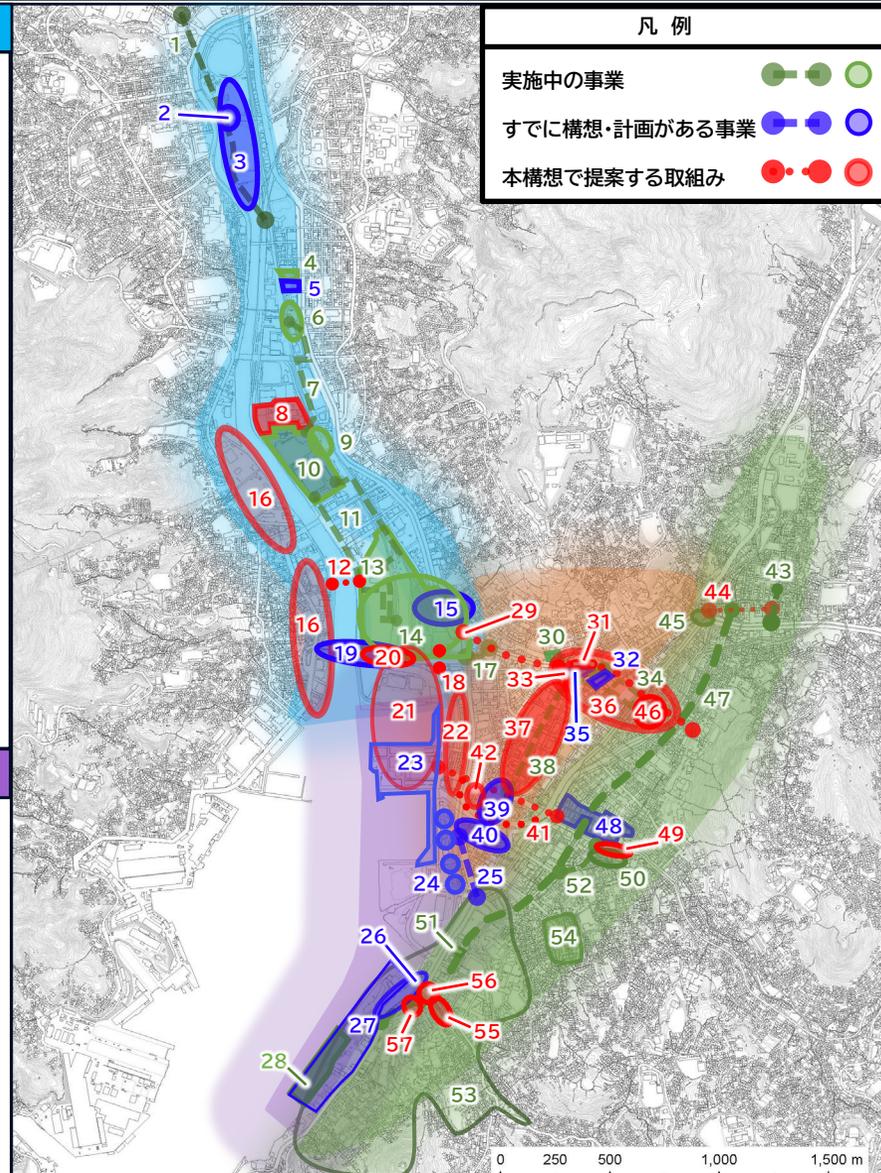
- (28)松が枝国際観光船埠頭の2バス化事業

すでに構想・計画がある事業

- (23)元船地区整備構想
- (24)長崎南北幹線道路
- (25)長崎駅⇨松が枝方面をつなぐ公共交通の直通化
（路面電車の短絡軌道等）
- (26)路面電車の延伸
- (27)松が枝周辺地区整備構想（エントランス空間整備等）

本構想で提案する取組み

- (21)長崎駅周辺⇨県庁舎周辺⇨元船地区の一体的な賑わい創出
- (22)元船地区周辺の土地利用の転換（地区計画等による高次な土地利用を促進する施策）



凡例

- 実施中の事業 ● ● ●
- すでに構想・計画がある事業 ● ● ●
- 本構想で提案する取組み ● ● ●

【岬のエリア】

実施中の事業

- (30)社会福祉会館と民間商業店舗の複合化
- (34)市庁舎周辺道路整備
- (38)国道34号の歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の活用

すでに構想・計画がある事業

- (32)桜町近隣公園整備
- (35)市庁舎跡地整備（文化施設及びそれ以外の機能をも付加した形での利用の検討）
- (39)県庁舎跡地活用（広場、情報発信機能、交流支援機能）
- (40)出島の完全復元

本構想で提案する取組み

- (29)長崎駅周辺⇨桜町周辺⇨まちなかの動線強化
- (31)桜町駐車場解体に伴う空間整備
- (33)歩行者支援施設（エスカレーター）整備
- (36)跡地活用や既存施設改廃に伴う桜町周辺地区の魅力向上
- (37)歩行空間の賑わい・活発な民間投資を生み出す地区計画等の活用
- (41)元船地区⇨出島周辺⇨まちなかの動線強化
- (42)県庁舎跡地活用を契機とした江戸町公園の再整備

【まちなかのエリア】

実施中の事業

- (43)（都）片淵線（新大工区）
- (45)馬町交差点改良
- (47)まちぶらプロジェクト
- (50)銅座町周辺の社会実験
- (51)旧長崎英国領事館保存整備
- (52)銅座川プロムナード整備事業
- (53)長崎居留地歴まちランドデザイン
長崎居留地歴まちアクションプラン
- (54)唐人屋敷顕在化事業

すでに構想・計画がある事業

- (48)浜町地区市街地再開発事業

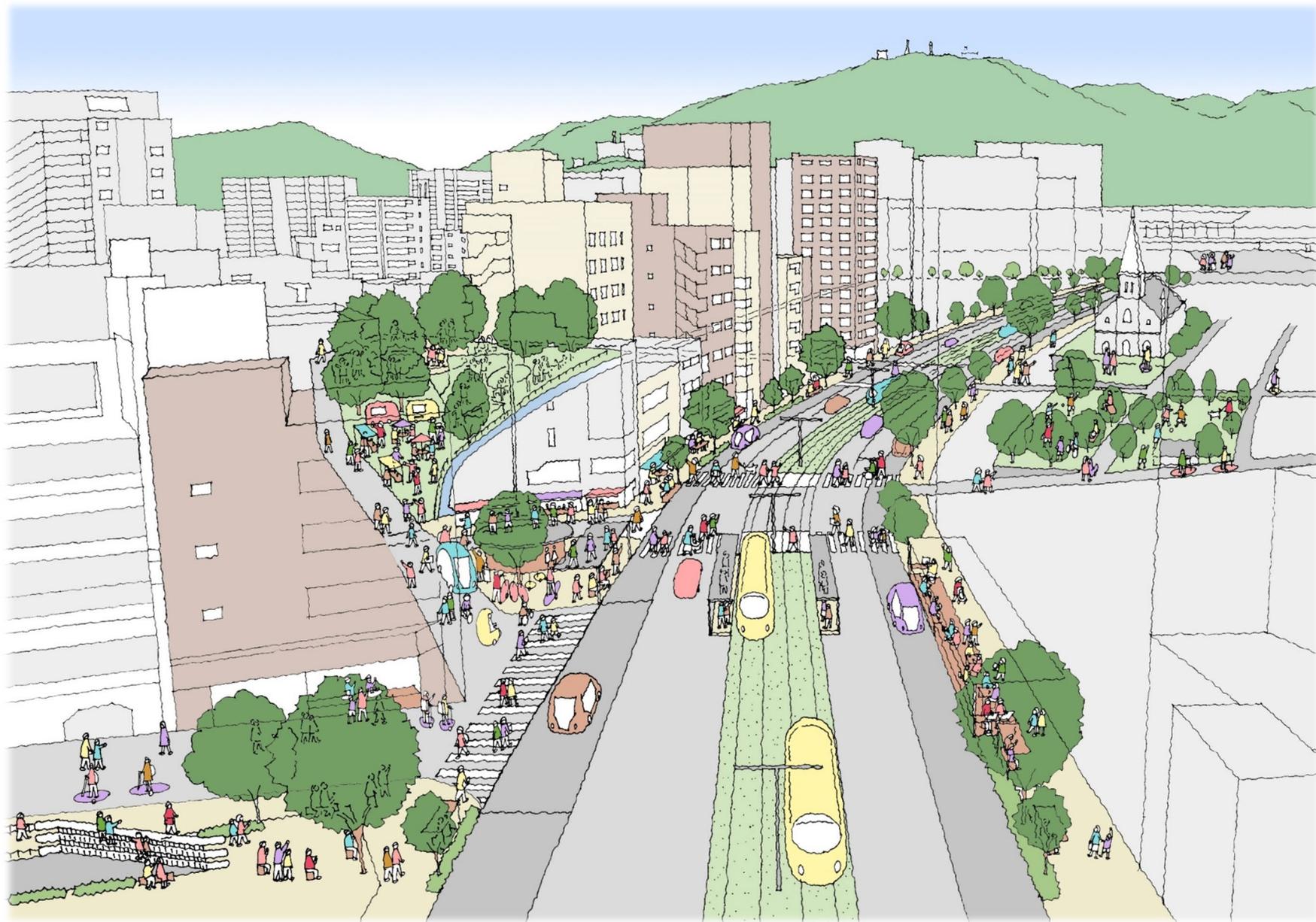
本構想で提案する取組み

- (44)シーボルト通りの歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の活用
- (46)市民会館現有地活用（集客機能等の配置）
- (49)春雨通りの交通結節機能の改善
- (55)大浦川周辺の浸水対策・環境整備
- (56)市宮松が枝町第2駐車場の解体に伴う交通結節機能の確保等
- (57)市宮松が枝町駐車場の更新に併せた観光回遊動線の強化等

都心部全体での取組み

- ①回遊経路を明確にする情報発信
- ②公共交通機関の利便性向上
- ③防災機能の向上
- ④公共空間を支援する仕組みづくり
- ⑤都市活動を担うプレイヤーの育成
- ⑥産学官の緊密な連携
- ⑦最新の情報技術等を活用した情報発信等
- ⑧移動支援モビリティ等の持続可能な運用
- ⑨時代変化に応じた新技術や社会実験等を活用したポテンシャル・ニーズの把握
- ⑩地域のポテンシャル・ニーズを効果的にまちづくり施策に反映させる仕組みづくり

将来のまちのイメージ（桜町周辺から長崎駅方面を望む）



※このパースはイメージであり関係機関等との協議により変更となる場合があります。

将来のまちのイメージ（市役所周辺から寺町方面を望む）

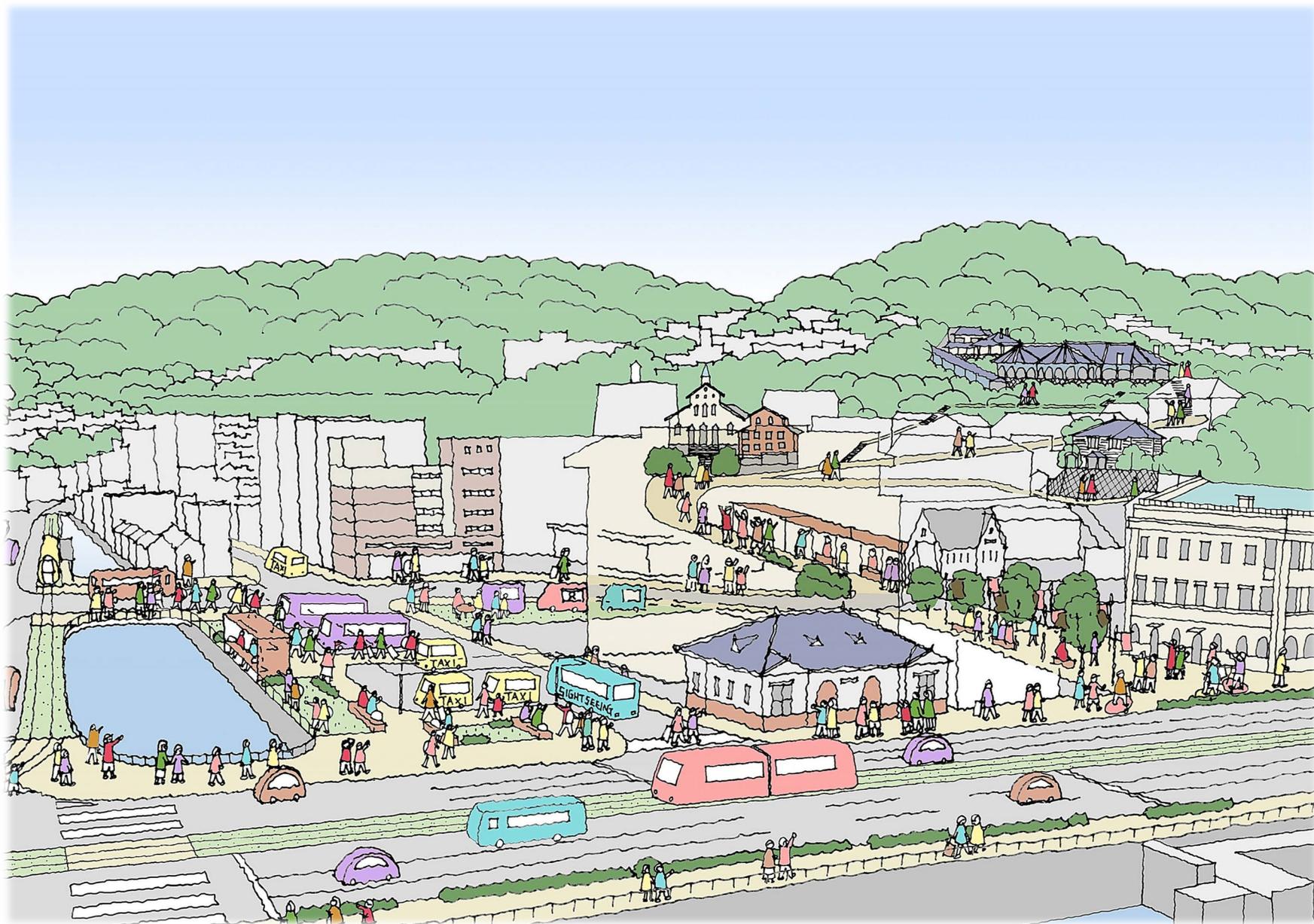


※このパースはイメージであり関係機関等との協議により変更となる場合があります。

将来のまちのイメージ（県庁舎跡地周辺から市庁舎跡地方面を望む）

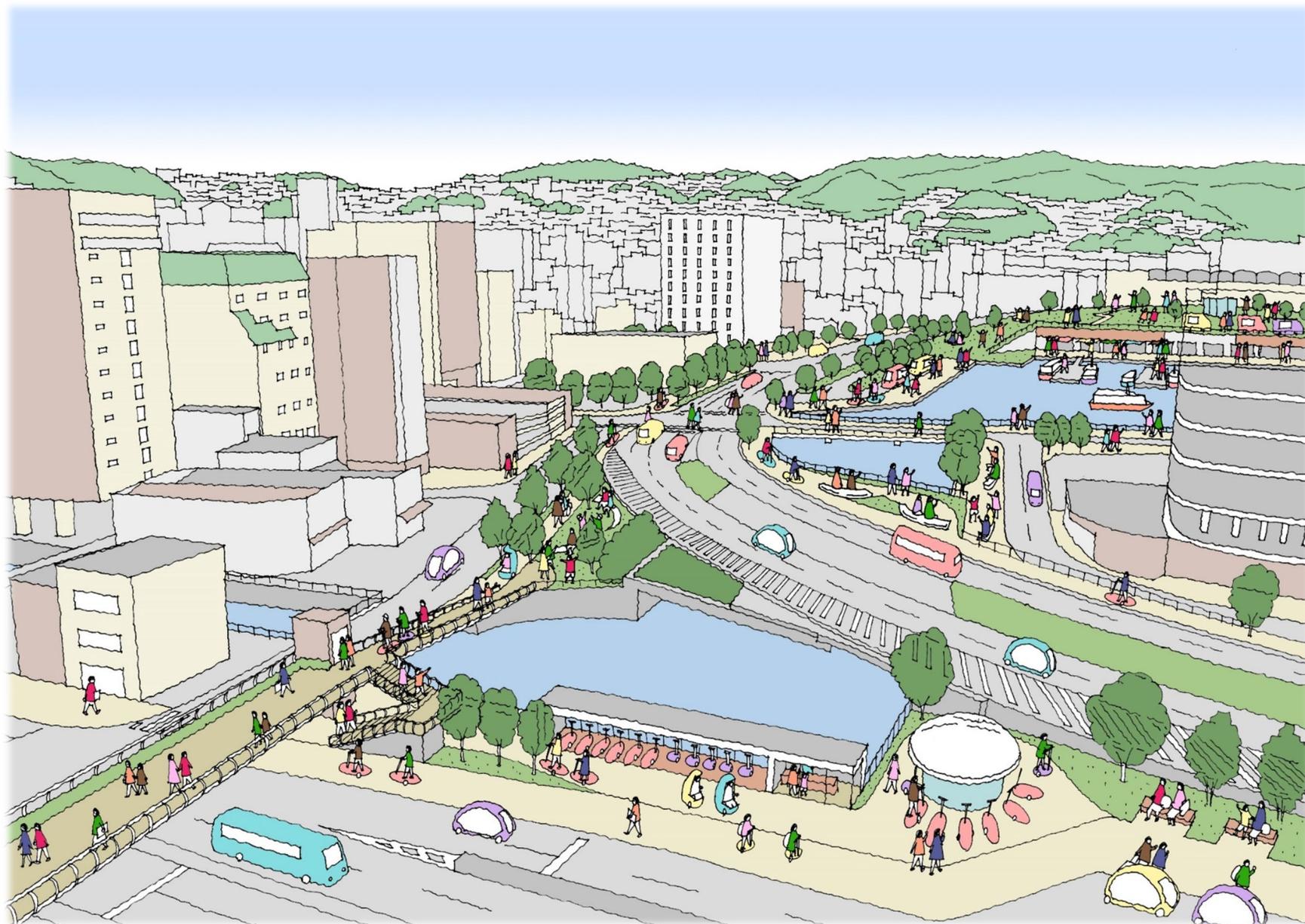


※このパースはイメージであり関係機関等との協議により変更となる場合があります。



※このパースはイメージであり関係機関等との協議により変更となる場合があります。

将来のまちのイメージ（長崎駅周辺から元船町方面を望む）



※このパースはイメージであり関係機関等との協議により変更となる場合があります。

